

I 社会福祉法人 杜の会 事業報告

1) 社会福祉法人杜の会設立の経緯と 2016(平成 28)年度事業報告について

社会福祉法人杜の会（以下、「本法人」という。）は、社会福祉法人愛和福祉会が経営する介護老人保健施設平和の杜（1996（平成 8）年事業開始）とグループホーム福井倶楽部（2002（平成 14）年事業開始）の無償譲渡による経営主体づくりのために、2015（平成 27）年度からその準備活動を開始、2016（平成 28）年 3 月 23 日に、社会福祉法人杜の会設立準備委員会を立ち上げ、同年 6 月、「できないとは思わない できると信じる できることを探そう 明日に向かって」を法人理念として、札幌市に社会福祉法人設立許可申請書を提出し、8 月 2 日に社会福祉法人杜の会設立許可書が交付され、10 月 1 日から介護を必要とする利用者と安全で高度で専門的な介護環境を理解する利用者家族の期待に応える看護・介護・リハビリ等の専門的業務による介護老人保健施設平和の杜（入所・短期入所療養介護）、通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所、認知症対応型共同生活介護グループホーム福井倶楽部の経営を開始しました。

2016（平成 28）年度における本法人としての事業展開は半年間のものでしたが、前法人の福祉・介護理念に基づき展開されてきた事業活動を継承発展させていくことが求められていることを理解し、本法人の理念を職員全員で共有化した年でありました。

2) 設立準備委員会の開催状況について

【設立準備委員会】

回	開催日	議事内容	
1	H28. 3. 23	議決	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人杜の会設立準備委員、設立準備委員会委員長及び設立当初の役員について 2. 社会福祉法人杜の会設立について 3. 準備委員会会則の承認について 4. 社会福祉法人杜の会定款の承認について 5. 評議委員会の設置について 6. 設立当初の資産について 7. 議事録署名人について 8. その他
		報告	<ol style="list-style-type: none"> 1. 愛和福祉会理事会について 2. 設立許可に向けての今後の行政及び愛和福祉会との協議について 3. その他
2	H28. 6. 8	議決	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人杜の会定款変更の承認について 2. 社会福祉法人杜の会規程類の承認について 3. 介護老人保健施設平和の杜施設長の選任について 4. 設立許可書の承認について 5. 評議委員の選任について 6. 設立当初の資産について 7. 愛和福祉会との贈与契約書について 8. 議事録署名人について 9. その他
		報告	<ol style="list-style-type: none"> 1. 札幌市との法人設立に関しての経過等 2. 愛和福祉会理事会等資料 3. その他

3) 理事会・評議員会等の開催状況

【理事会】

回	開催日	議事内容	
1	H28. 8. 4	議決	社会福祉法人杜の会評議員の選任について
2	H28. 8. 4	報告	10. 今後の社会福祉法人杜の会の手続きについて 11. 社会福祉法改定等について
		議決	4. 社会福祉法人杜の会理事長の互選について 5. 社会福祉法人杜の会理事長職務代理者の選任について 6. 社会福祉法人杜の会許可書に添付した諸規程について 7. 社会福祉法人杜の会許可書に添付した平成28年度事業計画及び予算書について 8. 介護老人保健施設平和の杜の施設長との医師契約書について 9. 社会福祉法人杜の会統括責任者との労働条件通知書について 10. 介護老人保健施設平和の杜 管理職（2名）の号俸について
3	H28. 10. 1	報告	1. 社会福祉法人 杜の会法人成立に伴う役員選任報告について 2. 職員採用について 3. 介護老人保健施設平和の杜の開設許可について
		議決	1. 社会福祉法人杜の会借入金の最高限度額の承認について 2. 社会福祉法人杜の会借入銀行の変更それに伴う担保承認について 3. 社会福祉法人杜の会介護老人保健施設 平和の杜 副施設長採用について
4	H29. 1. 26	報告	1. 稟議書（財産移転・担保承認）について 2. 平成28年10月・11月・12月の収入について
		議決	1. 社会福祉法の改正に伴う社会福祉法人杜の会定款変更の承認及び札幌市へ定款変更許可申請書提出について
5	H29. 1. 26	議決	1. 社会福祉法人杜の会 定款変更について 2. 社会福祉法人杜の会 役員・評議員の費用弁償及びその支給に関する規程の変更について 3. 社会福祉法人杜の会 評議員選任・解任委員会運営規程の議決について 4. 社会福祉法人杜の会 評議員選任・解任委員会委員の選任について 5. 社会福祉法人杜の会 評議員の候補者の決定について
6	H29. 3. 30	報告	1. 評議員選任・解任委員会の議決事項について 2. 職員採用について 3. 稟議書について
		議決	1. 2016（平成28）年度最終補正予算について 2. 2017（平成29）年度当初予算及び事業計画について 3. 処遇改善の一環としての決算手当の支給について 4. 社会福祉法人 杜の会 統括責任者、施設長、副施設長との雇用契約について（施設長の医師契約書に関しては、医師契約書第5条に基づき継続する。）

			5. 社会福祉法人 杜の会 管理職（2名）の号俸について 6. 就業規則、給与規程の一部改訂について
--	--	--	---

【評議員会】

回	開催日	議事内容	
1	H28. 8. 4	報告	1. 社会福祉法人杜の会許可書に添付した諸規程についてのご意見について 2. 社会福祉法人杜の会許可書に添付した平成 28 年度事業計画及び予算書についてのご意見について
		議決	1. 社会福祉法人 杜の会理事及び監事の選任について
2	H29. 1. 26	報告	1. 稟議書について（財産移転・担保承認について） 2. 平成 28 年 10 月・11 月・12 月の収入について
		議決	1. 社会福祉法の改正に伴う社会福祉法人杜の会定款変更の承認及び札幌市へ定款変更許可申請書提出について 2. 社会福祉法人杜の会 役員・評議員の費用弁償及びその支給に関する規程の変更について
3	H29. 3. 30	報告	1. 評議員選任・解任委員会の議決事項について 2. 職員採用について 3. 稟議書について
		議決	1. 2016（平成 28）年度最終補正予算について 2. 2017（平成 29）年度当初予算及び事業計画について 3. 処遇改善の一環としての決算手当（賞与）の支給について 4. 社会福祉法人 杜の会 統括責任者、施設長、副施設長との雇用契約について（施設長の医師契約書に関しては、医師契約書第 5 条に基づき継続する。） 5. 社会福祉法人 杜の会 管理職（2 名）の号俸について

【評議員選任・解任委員会委員】

回	開催日	議事内容	
1	H29. 2. 21	報告	1. 社会福祉法人 杜の会 定款について 2. 社会福祉法人 杜の会 評議員選任・解任委員会運営規程について 3. 社会福祉法人 杜の会 役員・評議員の費用弁償規程について
		議決	1. 社会福祉法人杜の会 評議員の選任について

4) 法人内各事業所の概況…別紙

- Ⅱ… (1) 介護老人保健施設平和の杜 入所
- (2) 通所リハビリテーション
- (3) 平和の杜居宅介護支援事業所
- Ⅲ… グループホーム福井倶楽部

5) 行政監査の実施…2016（平成 28）年度はありません。

6) その他

2016（平成 28）年 8 月…社会福祉法人 杜の会設立許可、法人登記。

2016（平成 28）年 10 月…社会福祉法人 杜の会として各事業開始。

2016（平成 28）年 10 月…軽自動車購入。

2016（平成 28）年 11 月…「おもてなし足湯」正面入口付近に設置。

2016（平成 28）年 12 月…正面玄関に風除室新設。

2016（平成 28）年 12 月…軽自動車購入。軽自動車経年劣化のため廃車。

2017（平成 29）年 3 月…軽自動車購入。

Ⅱ 介護老人保健施設 平和の杜

(1) 介護老人保健施設 平和の杜

1) 2016(平成 28)年度事業報告について

上期は社会福祉法人 愛和福社会として、下期は新法人である社会福祉法人杜の会として事業を行いました。来年度の介護報酬改定を視野に入れながら、看護・介護・リハビリスタッフ等の多職種連携により、老健の使命である在宅復帰を今まで以上に意識し、利用者様へのサービス提供を行いました。

2) 平和の杜の概況

① 職員配置

2017年3月末現在

	施設長	支援専門員	支援相談員	看護職員	介護職員	管理栄養士	リハビリ	事務員	施設管理
定数	1	1	1	8	19	1	1	0	0
配置数	1	2	2	13	32	1	7	4	3

※医師は施設長、 医師・管理栄養士・リハビリ・事務員・施設管理は通所リハも兼務

② 利用者の状況

a. 利用者定員 80名（一般棟40名・認知症専門棟40名）

b. 月平均の入居者数

2017年3月末現在

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
79.0	78.2	79.5	79.9	78.6	78.7	78.7	78.8	77.5	77.2	78.9	77.9	78.6

c. 利用者の年齢構成

2017年3月末現在

	65才未満	65~69	70~79	80~89	90才以上	平均年齢
男性	4	0	6	9	4	78.4
女性	1	1	7	26	18	85.7
合計	5	1	13	35	32	83.5

d. 利用者の介護度

2017年3月末現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
2017.3.31	18	14	19	21	4	2.72

3) 事業内容

① 利用者援助、介護サービス計画

a. 在宅復帰・在宅支援

今年度も、利用者・家族の理解と協力のもと在宅復帰率 30%以上（平均 50.50%、昨年度 44.65%）を維持し、年間で 53 名（昨年度 40 名）の利用者が在宅復帰をしました。また在宅復帰された方のショートステイ利用についても、関係事業所（居宅介護支援事業所等）と連携しながら実施してきました。現在入所中の軽度要介護者についても安心して自分らしく地域で生活して頂けるよう、利用者・家族の意向を確認しながら、在宅への支援を継続していきたいと考えています。要介護度が重度で在宅生活が困難な方については、引き続き長期療養の提案をしていきたいと考えます。

b. リハビリ

リハビリテーション実施状況は、短期集中リハビリテーション(1718 件)や個別リハビリテーション(ショートステイ 859 件)の充実した対応に加えて、認知症の利用者への

関わり方を評価・実施する認知症短期集中リハビリテーション(469件)にも取り組みました。また、土曜日にも1名以上のリハビリ職員を配置することで、より充実に対応できるようにしました。その他、内部研修の開催や他施設への講師派遣を行い、職員への技術的指導を行いました。

今後も、提供するリハビリの量だけでなく、その質も向上が図れるように次年度への維持そして更なる向上に取り組めます。

c. 健康管理

ア 健康の維持増進

2012年度の介護報酬の改定で新設され、肺炎・尿路感染・帯状疱疹を発症し施設内で治療を行った場合に算定可能な所定疾患施設療養費を活用し、2016年度も前年度同様肺炎・尿路感染の発症・重症化予防に重点を置きました。

当施設における2016年度、所定疾患別施設療養費算定状況は下記の通りです。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
尿路感染	算定人数	0	0	0	1	1	2	1	0	1
肺炎	算定人数	1	1	1	2	3	1	1	3	1

1月	2月	3月	合計
1	0	0	7
7	1	0	22

当施設は在宅復帰支援に重点を置いています。長期療養となっている利用者も多く長期利用者には定期的に採血を施行、また必要時採血以外に施設内で可能な検査等異常の早期発見に努めています。施設長が診察し医療機関での治療が必要と判断した場合にはご家族様へ適切な場所での療養を適宜提案しており、今後も継続が必要と考えます。

イ 感染対策

感染対策委員会が中心となり、職員へ内部研修やラウンドを通して正しい感染予防策の周知・徹底に努めました。今年度、インフルエンザ・ノロウイルスの発症は0件でした。次年度もインフルエンザワクチン予防接種率を維持し、インフルエンザの感染予防に努めます。また、その他の感染症についても流行状況を把握し、利用者の感染予防に努めます。

ウ 褥瘡対策

今年度は褥瘡有病率平均 1.53%でした。褥瘡を作らない「予防」に重点をおき、褥瘡有病者に対しては医師・看護職員が中心となり施設内での早期治療を目指し治療を行いました。結果、前年度の 2.88%、全国の老健の 2.20% (2010年度) を下回っており次年度も、多職種が連携し栄養面等様々な視点から褥瘡予防・治療に対する意識を高く持つことができるよう、褥瘡対策委員会を中心に研修会を企画する等活発な活動を行いたいと思います。

d. 倫理的課題の取り組み

2015年度の接遇・倫理委員会の取り組みとして、接遇・マナーマニュアルの改定、抑制廃止マニュアルの改定と再周知及びグループワーク形式の内部研修等を昨年度に引き続き行いました。日頃の業務ではつい忘れてしまいがちな自分の接遇の事や他の職員の良い所等を改めて振り返る機会を提供することができました。

e. 食事

生活の楽しみである「食べること」が、利用者自身で行えるように援助を行いました。摂食・嚥下機能に障害がある場合には、医師、言語聴覚士、管理栄養士など多職種が協力し、美味しく安全な食事摂取ができるように栄養管理を行います。また、利用者の疾患を考慮し、健康の維持・増進がはかれるよう、適切な療養食をこれからも提供していきます。

f. 介護サービス計画の作成、変更

2016年度は在宅復帰、長期療養を目標として利用される方とご家族のニーズに合わせた計画を他職種協働で作成することができました。次年度も利用者のニーズに合わせた計画を作成し、在宅復帰支援や長期療養支援の目標が達成できるように支援します。

②継続教育

教育係の企画・運営のもと下記研修を実施しました。研修内容や実施回数は介護保険法や札幌市からの指導により計画したもので、次年度も継続して行います。

a. 外部研修

研修期間	研修会名	参加職種	人数
6/24	施設内虐待防止の為の介護職員の「激怒感情」のコントロール習得セミナー	介護職員	1名
7/4	BPSD（行動心理症状－周辺症状）対応研修	介護職員	1名
7/26	排泄ケア集中研修 基本を徹底安心して任せられる介護職員育成	介護職員	2名
8/9	介護リーダー養成研修	介護職員	2名
9/21	不安・不穏に対する看護の力	看護職員	1名
10/27	医療知識向上研修	介護職員	1名
11/4	第24回 北海道老人保健施設大会	介護職員	2名
11/5	第24回 北海道老人保健施設大会	介護職員	2名

b. 内部研修

研修期間	研修会名	参加職種	人数
4/15.18.21	平成28年度 事業計画	全職種	50名
5/19.25	倫理及び法令遵守について	全職種	41名
6/18.24	褥瘡予防について*新人職員対象	看護介護	5名
7/19.22.26	食中毒予防について	全職種	43名
8/22.25.30	当施設での認知症短期集中リハビリの取り組みについて	全職種	46名
9/20.26.29	災害発生時の対応について	全職種	42名
10/20.28.31	緊急時の対応について～心肺停止時観察から心臓マッサージまで	全職種	50名
11/22.25.28	事故・ひやりはっと～集計と傾向について～	全職種	41名
12/15.20.27	ノロウイルスについて	全職種	33名
1/17.26.30	接遇について	全職種	38名
2/17.20.27	KYT（危険予知トレーニング）	全職種	46名
3/14.24.30	褥瘡対策の知識と備品について	全職種	47名

※内部研修については通所、居宅、福井倶楽部合同参加

③地域との連携計画

ア 「杜のこえ」の発行（毎月） イ 病院・居宅介護事業所との連携

- ウ ボランティアの拡充
- エ 夏祭りを実施し地域の方の参加の呼びかけ
- オ 専門学校（介護）への講師

④事故予防対策

2016年度は転倒による入院数2件以内を目標としていましたが7件の入院があり、目標達成とはなりませんでした。次年度は事故原因の詳細な分析を行い、早急かつ利用者の個別性を考慮した対策立案を行い、転倒による受傷を予防していきます。

⑤実習の受け入れ

2016年度は2校7名の介護福祉士専門学校の実習生の受け入れを行いました。介護職員は2025年までに約250万人が必要と言われ、専門職の育成も老健の果たすべき役割と考え次年度も引き続き取り組みます。

a. 介護福祉士養成課程実習

実習期間	学校名	人数
6/13～7/1、11/7～11/25、1/23～2/10	札幌医療秘書福祉専門学校	計6名
11/14～12/2	札幌医学技術福祉歯科専門学校	計1名

b. その他の実習

- ・青葉学園 北海道看護専門学校 2年生 老年看護学実習
11/9～11/20 1/18～1/29 各2名 計4名
- ・西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校 理学療法学科 2年生 評価体験実習
11/24～12/9 3/1～3/16 計2名
- ・西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校 理学療法学科 3年生 評価実習
9/7～10/2 計1名

⑥人材確保

介護福祉士専門学校の定員割れが続く中、介護福祉士の需要は今後ますます高まると思われます。今後も実習生の受け入れ等を積極的に行い、平和の杜が就職の場所として選ばれるような施設を常に目指して行きます。

⑦防災対策の充実

防火（避難）訓練を2回（防災協会立会1回）実施しました。
定期の消防設備点検を実施しました。

⑧苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。
第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数

a	ケアの内容に関わる事項	0
b	個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c	財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d	制度・試策・法律に関わる要望	0
e	その他	0

a	説明・情報不足	0
b	職員の態度	0
c	サービス内容	0
d	サービス量	0
e	権利侵害	0
f	その他（ ）	0

⑨各種会議・委員会実施状況

会議等	実績	委員会等	実績
運営会議	12回	感染対策委員会	12回
給食会議	12回	褥瘡対策委員会	12回
入所判定会議	34回	事故予防委員会	92回
サービス担当者会議	154回	事故対策委員会	42回
入所会議	12回	接遇・倫理委員会	12回
行事会議	12回	看護業務改善委員会	12回
		介護業務改善委員会	12回

⑩行事等実施状況

4月	たこ焼きパーティー 春の大宴会	10月	運動会
5月	お花見・買物外食ツアー	11月	ワンプレート手作りおやつ 秋祭り
6月	ジンギスカンパーティー とんでん外食ツアー	12月	クリスマス会
7月	スイカ割り 夏のスイーツbuffet	1月	新年会
8月	夏祭り	2月	お汁粉の会・節分行事
9月	敬老会	3月	パフェ作り・花より団子

4) 成果と反省・課題・まとめ

今年度の入所者、利用者増を継続すべく対策だけではなく、多方面での細かい反省を踏まえて、更なる向上を職員一同で目指していきます。

(2)介護老人保健施設 通所リハビリテーション

1)2016(平成 28)年度事業報告について

2015 年度介護報酬改定後より、昨年度同様、維持のためのリハビリではなく向上に向けたリハビリの提供に取り組んできました。個別リハビリだけではなく、マシントレーニングやエアロバイクの稼働率を上げたほか、新たにトレッドミルを導入し、身体機能の高い方へ提供するなど、幅広い活動を提供できるよう努めてきました。当通所リハビリテーションの特色であるリハビリや運動に重点をおいたサービス内容は居宅介護支援事業所にも根付き、利用目的が明確な利用者の方を紹介していただけるようになりました。リハビリやマシントレーニング・運動などに関心があるのは男性であり、男女の利用者比率は約 8 : 2 と男性利用者が多くご利用されています。毎週火曜日と金曜日を男性のみの利用日にするなど男性利用者の方々により一層満足してご利用いただけるリハビリ・トレーニングなど運動を中心としたサービスの提供に取り組んでまいりました。昨年度に引き続き、要介護者の方に提供する個別リハビリだけではなく要支援の方に対する運動指導するなど質の高いリハビリ・トレーニングなどを運動提供出来るよう体制の強化を今年度も引き続き推し進めました。

2)通所リハビリテーションの概況

① 職員配置

2017 年 3 月末現在

	施設長	支援相談員	看護職員	介護職員	管理栄養士	リハビリ	事務員	施設管理
定数	(1)	0	0	4	(1)	(1)	0	0
配置数	(1)	(1)	1	10	(1)	5	(4)	(3)

() は兼務

②利用者の状況

a. 利用者定員 40 名 (要支援者含む)

b. 月平均の利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
23.0	24.2	24.5	23.9	24.5	25.2	25.1	25.1	25.2	25.0	25.3	24.0	24.6

・昨年度の平均は 22.5 名でした。

c. 利用者の年齢構成

2017 年 3 月末現在

	65未満	65~69	70~79	80~89	90才以上	合計
男性	3	7	21	25	5	61
女性	2	2	6	12	5	27
合計	5	9	27	37	10	88

d. 利用者の介護度

2017 年 3 月末現在

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	要支援 1	要支援 2	合計
25	25	8	2	0	12	16	88

3)事業内容

①処遇・援助

a. 通所リハビリテーションサービス

ア 通所リハビリテーション計画書

ご利用開始前の担当者会議参加時に、ご本人・ご家族へ生活習慣や要望等を聞き取り、カンファレンスにてケアスタッフ全員で情報共有し、個別性の高い計画書作成に努めました。計画書内容は誰が見ても理解できるものにする為、専門用語などは出来るだけ使用しないように心がけました。

b. 食事

食事前の嚥下体操を行い、よりおいしく・より安全に食事を摂取してもらえるよう環境を整えました。個々の嚥下状況・嗜好・摂取状況等の把握に努め、その方に適している食事形態・食事量を提供するなど、ご利用者の方と共に検討・変更・評価を行うようにしました。

c. 入浴

「安全で快適な入浴」を目標として、個人の身体機能・残存機能を把握し過剰介助の廃止、職員間で統一した支援、適切な介助・見守り等を提供できるよう取り組みました。

d. 排泄等

同性介助を基本として羞恥心に十分配慮できる体制を整えていました。定時誘導などにより排泄パターンを把握し、必要のないパット廃止に取り組みました。

e. 健康管理

日々のバイタルチェックや全身状態の観察・確認、必要時には家族や主治医と連絡を取り合うなど健康管理に努めました。また手洗い・うがいを強化し、感染症予防への取り組みを行うと同時に、食中毒発生時期やインフルエンザ流行時期等は、早い時期から予防策を掲示板に張り出すなど予防対策に努めました。

f. リハビリテーションの充実

退院直後の短期集中リハビリの提供に伴う家屋調査の実施、身体状態の変化に伴う家屋再調査など在宅で生活するうえで必要な環境整備を実践しました。

要支援の方にも必要な運動指導などをおこない、要介護状態にならないよう努めました。自主トレーニングに取り組む意欲の高い利用者自主トレーニングメニューの提案・助言等も実施することで、利用者の方の意欲向上へ繋げることができました。

g. 身体的拘束の禁止の徹底

定期的に職員間で身体拘束マニュアルを確認し、身体拘束に対する意識を高めるように取り組んできました。

h. 各種会議・委員会

会議等	実績	委員会等	実績
通所会議	12回	事故予防委員会	72回
業務改善会議	12回	感染対策委員会	12回
接遇倫理委員会	12回		

i. 行事等実施状況

行事		行事	
春のお楽しみ昼食会	4/19～4/25	秋のお楽しみ会	10/17～10/21
お花見ドライブ	4/27～5/3	お楽しみ昼食バイキング	11/16～11/20
個別お食事会	6/27～7/22	望年会	12/13～12/15
夏祭り	8/7	新年ゲーム大会	1/16～1/20
納涼かき氷大会	8/22～8/26	節分鍋パーティー	2/1～2/3
敬老会	9/12～9/26	もりもりバイキング	3/20～3/24

②職員研修

研修期間	研修会名	参加職種	人数
4/15. 18. 21	平成 28 年度 事業計画	全職種	50 名
5/19. 25	倫理及び法令遵守について	全職種	51 名
7/19. 22. 26	食中毒予防について	全職種	43 名
8/22. 25. 30	当施設での認知症短期集中リハビリの取り組みについて	全職種	46 名
9/20. 26. 29	災害発生時の対応について	全職種	42 名
10/20. 26. 29	緊急時の対応について～心肺停止時観察から心臓マッサージまで	全職種	50 名
10/22	緊急時の対応について (AED)	全職種	24 名
11/22. 25. 28	事故・ひやりはっと～集計と傾向について	全職種	41 名
12/15. 20. 27	ノロウイルスについて	全職種	33 名
1/17. 26. 30	接遇について	全職種	38 名
2/17. 20. 27	K Y T (危険予知トレーニング)	全職種	46 名
3/14. 24. 30	褥瘡対策の知識と備品について	全職種	47 名

※内部研修については入所、居宅、福井倶楽部合同参加

③苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他 ()	0

【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ()	0

④防災対策の充実

防火（避難）訓練を 2 回（防災協会立会 1 回）実施しました。

定期的な消防設備点検を実施しました。

4) 成果と反省・課題・まとめ

月延利用者数 550 名という目標については達成することができました。利用者数増加の要因として、要介護者・要支援者問わず、新規利用者の方々に理学療法士による身体機能評価を実施し、個別リハビリが必要な人にはリハビリを提供するなど、質の高いサービス提供にあったと思われまます。

(3) 平和の杜居宅介護支援事業所

1) 2016(平成 28)年度事業報告について

前年度と比べ利用実績が 400 件以上増えました。目標としていた件数も越えて職員も増員することが出来ました。10 月より新法人となり新たに契約やプランの再作成など利用者にも協力をしていただき滞りなく手続きを済ませることが出来ました。

各サービス事業所との連携を密にし、利用者が自宅での生活をできるだけ長く続けられるように心がけ業務に取り組ませていただきました。

2) 平和の杜居宅介護支援事業所の概況

①職員配置数

2017 年 3 月末現在

職 種	管 理 者	介護支援専門員
定 数	(1)	(1)
配 置 数	(1)	5(2)

()は兼務

②利用者の状況

a. 要介護（国民健康保険連合会請求分）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
125	123	129	132	132	127	126	143	149	147	146	158	1637件

b. 要支援（地域包括支援センター請求分）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
23	23	25	25	26	28	27	26	29	32	32	32	328件

③相談援助

訪問相談件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
128	131	137	140	141	136	135	151	159	158	157	161	1734

④その他（年間件数）

a. 認定手続代行者数

b. 新規契約者数

c. 契約満了者

平成 28 年 4 月～9 月分

44件

34件

13件

平成 28 年 10 月～平成 29 年 3 月分

58件

41件

27件

※ b・c は介護予防者を除く

e. 利用者紹介元

H28 年 4 月～9 月

H28 年 10～H29 年 3 月

利用者の紹介元	件数	件数
病院	6 件	0 件
地域包括支援センター	15 件	17 件
介護施設	3 件	0 件
居宅介護支援事業所	4 件	6 件
家族	3 件	4 件
合計	31 件	27 件

f. 利用者の移行先

H28年4月～9月 H28年10～H29年3月

利用者の移行先	件数	件数
病院	5件	7件
介護施設	0件	1件
サ高住等	2件	8件
死亡	4件	5件
その他	1件	1件
合計	12件	22件

⑤ 苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他（説明不足・連絡の行き違い）	0

c. 【苦情の想定原因】

項目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他（ ）	0

3) 職員研修等

a. 内部研修

研修期間	研修会名	参加職種	人数
4/15. 18. 21	平成28年度 事業計画	全職種	50名
5/19. 25	倫理及び法令遵守について	全職種	41名
7/19. 22. 26	食中毒予防について	全職種	43名
8/22. 25. 30	当施設での認知症短期集中リハビリの取り組みについて	全職種	46名
9/20. 26. 29	災害発生時の対応について	全職種	42名
10/20. 28. 31	緊急時の対応について～心肺停止時観察から心臓マッサージまで	全職種	50名
11/22. 25. 28	事故・ひやりはっと～集計と傾向について～	全職種	41名
12/15. 20. 27	ノロウイルスについて	全職種	33名
1/17. 26. 30	接遇について	全職種	38名
2/17. 20. 27	KYT（危険予知トレーニング）	全職種	46名
3/14. 24. 30	褥瘡対策の知識と備品について	全職種	47名

※内部研修については通所、居宅、福井倶楽部合同参加

b. 外部研修

日時	研修会名	場 所	出席職員
H28/4/20	精神疾患がある方への対応について	社会福祉総合センター	1名
H28/5/26	2016年度診療報酬改定に伴うケアマネとしての留意点	社会福祉総合センター	1名
H28/7/23	高齢障がい者の諸問題とケアマネジメント・障害者と介護保険～65歳以上問題～	かでのる2・7	1名
H28/8/8	介護支援に関する法令・倫理	札幌エルプラザ	1名
H28/9/1	ケアマネジメント能力向上研修	コンベンションセンター	2名
H28/10/15 ・16	介護支援専門員全国大会	ロイトン札幌	2名
H28/11/16 ～12/7	アセスメントのための情報集の視点を学ぶ	シーズネット	1名
H28/11/19	主任介護支援専門員フォローアップ研修	札幌エルプラザ	1名
H28/12/14	医療事前指示書—よく生きるを支援する	社会福祉総合センター	2名
H29/1/23	新総合事業について	自治労会館	1名
H29/3/9	介護保険法改正をにらんで～札幌市の地域包括ケアシステムを考える	ちえりあ	1名
H29/3/16	困難児れういお抱える新任期のケアマネジャーへの支援について	自治労会館	2名

その他、介護支援専門員連絡協議会西区支部研修会参加。年3回
(西区民センター他)

4) 成果と反省・課題・まとめ

利用者紹介元として 地域包括支援センターからが多くなっています。要支援から要介護となり依頼が来るケースで要介護1や2と比較的軽度の方を多く担当しています。今後は病院などとの連携も強め、要介護3～5の方や医療依存度の高い方も紹介していただき、様々な利用者の支援を行えるように職員一同研鑽を積みます。

Ⅲ グループホーム 福井倶楽部

1) 2016（平成 28）年度事業報告について

昨年度に引き続き地域の行事等に積極的に参加させて頂いたり、定期的な児童の訪問もあり、地域の方と交流する機会が多くありました。しかし、利用者の身体機能や認知能力の低下が著しく外出が難しくなってきたり、楽しめなくなっている中でどうして良いの分からず支援が困難な事がありました。

今後はそれぞれのニーズに合った支援を随時見極めながら地域の中で皆様が安心して過ごす事が出来る様サービス提供に努めていきます。

2) 福井倶楽部の概況

①配置職員

2017年3月末現在

	管 理 者	計画作成担当者	介 護 職 員	看 護 職 員
定 数	(1)	1	3	(1)
配 置 数	(1)	(1)	7 (2)	1

*管理者は介護員を兼務。*計画作成担当者は介護員を兼務。*（ ）は兼務者の人数。

②利用者の状況

a. 利用者定員 9名

b. 入・退所状況 (直近3ヶ月)

	1月	2月	3月
入 居 者	0	0	1
退 居 者	0	0	2

c. 利用者の介護度内訳

2017年3月末現在

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1	1	4	1	1

3) 事業内容

①地域とのかかわり

地域のお店を利用させて頂いたり町内会の回覧板にホームの広報誌を入れて頂き地域の中のグループホームという位置づけを定着してもらえよう活動する事が出来ました。

②サービス

個別性とストレスのない穏やかな生活をテーマにサービスを提供しており、明るく家庭的な雰囲気です。

③事故報告

転倒7件（骨折2件）、誤食1件ありました。

④職員研修

認知症実践者研修 1名・施設の食事を考える前編 1名・後編 1名

チームアプローチ研修 1名・看取りケア基礎研修 1名・喀痰吸引研修 1名

平和の杜内部研修には、毎月参加しホーム内で研修報告を行っています。

研修期間	研修会名	参加職種	人数
4/15.18.21	平成28年度 事業計画	全職種	50名
5/19.25	倫理及び法令順守について	全職種	41名
6/18.24	褥瘡予防について*新人職員対象	看護介護	5名

7/19. 22. 26	食中毒予防について	全職種	43名
8/22. 25. 30	当施設での認知症短期集中リハビリの取り組みについて	全職種	46名
9/20. 26. 29	災害発生時の対応について	全職種	42名
10/20. 28. 31	緊急時の対応について～心肺停止時観察から心臓マッサージまで	全職種	50名
11/22. 25. 28	事故・ひやりはっと～集計と傾向について～	全職種	41名
12/15. 20. 27	ノロウイルスについて	全職種	33名
1/17. 26. 30	接遇について	全職種	38名
2/17. 20. 27	K Y T（危険予知トレーニング）	全職種	46名
3/14. 24. 30	褥瘡対策の知識と備品について	全職種	47名

※内部研修については入所、通所、居宅合同参加

⑤苦情解決の状況

- ・苦情の申し立てはありませんでした。
- ・第三者委員には、定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他（ ）	0

⑥外部評価の実施

2016（平成28）年11月15日に福祉サービス評価機構Kネットにより実施しました。

4) 成果と反省・課題・まとめ

利用者の身体機能や認知能力の著しい低下の中で、事故や制限せざるを得ない事が増えたり、ホームの構造上十分な支援が出来ない事がありました。その都度利用者のニーズに合った対応を職員一人ひとりが柔軟に提供できるように努めます。

新入職員も増え、職員一人ひとりが新たな気持ちで個人目標の実践に向け質の向上を目指します。